

あいな 里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～

工事が進んでいます

2007年11月末現在 工事の進捗状況



■あいな亭・食堂棟



写真右手奥に見えるあいな亭は、骨組みが組み立てられ、その形が分かるようになってきました。屋根は茅葺きで、この冬に葺かれます。

左手前に見える建物は食堂棟で、こちらも外観が分かるようになって来ました。将来、こちらで食事を楽しんでいただく予定です。

■クラブハウス



クラブハウス本棟と、倉庫2棟の計3棟を建築しておりますが、先に倉庫棟が形になってきております。倉庫のうち、1棟は茅葺き屋根で、既に屋根工事に取掛かっています。面積の広い本棟は、現在基礎が創られている段階です。

■耕作楽園地区



耕作楽園地区は造成工事が進み、太陽と緑の道と木見川の交差する部分から、相談が辻の家が見えるようになってきました。

棚田ゾーンから耕作楽園に降りる道からは流出抑制部分が良く見えます。また、相談が辻付近でも造成が進み、古民家やトイレの設置が計画されています。

■長屋門横 トイレ棟



長屋門の北東部に位置するトイレ棟は、コンクリートの基礎が出来上がり、周囲の足場が組み立てられています。

このトイレから発生する汚水は、今年の春に完成した下水処理施設へ流し、河川に放流せず、園内で処理されます。

次回の発行は2月上旬頃の予定です

トピックス

- 第9回 あいな里山まつり開催
- 工事が進んでいます

冬のあいさつ

今年度の第9回あいな里山まつりは、晴天に恵まれて盛大に行われました。

棚田ゾーンが一番上から木見川沿いの一番下の部分までを会場にして、普段は入ることが出来ない場所にも入っていただき、工事の進み具合を多くの方に見ていただきました。

里山まつりが終わって普段の工事現場に戻っていますが、着々と公園整備は進んでおります。

次回の里山まつり際には、また違った姿でお会いできると思います。

製作・発行

国営明石海峡公園事務 神戸地区現場事務所
〒651-1104
神戸市北区山田町藍那字伝庫14
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944

第9回あいな里山まつり開催

平成19年11月24日(土)

第9回あいな里山まつりは「あいなを秋をあじわう」をテーマに開催されました。整備工事が進む棚田ゾーンでの開催でしたが、野原エリアと名づけられた耕作楽園地区の一部も見ていただきました。開園に向けて整備が進む公園の様子と市民団体による秋の味覚や体験など、1日限りではありませんが、神戸地区の魅力を知っていただけたのではないのでしょうか。



炭窯エリア



ほのかに香る、風に揺らぐ煙。飲食販売のテントも立ち並び、里山の恵みに多くの人が舌鼓をうっている。

わかば会による焼きいもや、あいな茅葺きくらぶによる里山おこわ、プレゼント・ガーデンによるぜんざい、あいな炭焼きくらぶによる炭窯で焼いたピザなど里山ならではの魅力的なメニューが勢ぞろい。中にはすぐに売り切れて

しまったメニューもあったらしく、小春日和の陽気の中、多くの方が畦に腰を掛けて食事をしながらくつろいでいる姿は、とても印象的でした。

ため池では、ため池・湿地帯の生き物保全グループによる釣り体験も行われ、ため池の横一列に藍那の竹で作られた釣り竿で獲物を狙う子どもがずらり。最近ではなかなか見かけることの出来ない微笑ましい光景でした。

草地エリア

昨年、荒廃していた場所が、多くの方の協力によって草地に戻ったこのエリアでは、あいな育みの会による里山バーベキューや、野草くらぶの焼おにぎり、NPO法人自然と友だちになろうによる朴葉焼き、学半舎によるじゃがバターなどが販売されていました。



順番待ちが起きるほど盛況だったようで、昼食時には多くの人で賑わっていました。

また、屋外遊びコーナーが設置され、子どもたちが走り回っていました。

市民による実行委員会主催になってから4回を数えました。第9回あいな里山まつりの来訪者数は約450人でした。楽しい一日を過ごしていただけたと思います。

野原エリア



園内を流れる木見川沿いに整備している耕作楽園地区。その一部を開放して、子どもたちに楽しんでもらえるようなプログラムを実施いたしました。

このエリアは、昨年度に流出抑制施設として整備した場所、まつりの会場となったのは初めてです。雨が大量に降ったときには貯水池になりますが、普段は自由に遊べる空間になります。

当日は、モンゴルの遊牧民の家、ゲルを組み立てるワークショップが行われ、民族衣装をまとった人も会場に登場、里山の中で国際交流が行われました。

クラフト体験では、自分で作った竹とんぼを飛ばしたり、竹笛を鳴らしたりしていました。大型のもので、竹で作ったブランコや大きなドームも設置され、その周りには子供たちが集まり、一日中歓声がたえまませんでした。

樹林エリア

太陽と緑の道から少し入った樹林エリア。ここも普段は工事区域のため立ち入り禁止になっていたので、まつりの日には開放して、ツリーイング会場として使用いたしました。ツリーイングとは、器具を使っての木登りで、小さな子どもでも簡単に登って

いくことができます。この日も、初めての方が何人も体験していました。

当公園は、里山空間を農作業や伝統的な利用だけではなく、レクリエーションや癒しの空間としても活用したいと考えています。



農家エリア

まつりの本部や受付の配置して、活動団体のパネル展示などもしていたエリアです。

公園内で活動する約20

展望エリア



展望エリアの頂上に登ると、明石海峡と淡路島が一望でき、空気が澄んでいれば、淡路島の町並みが見えることもあります。

園内で最も標高が高い場所ですが、子どもでも比較的簡単に登れます。

棚田ゾーンも一望できますので、年々変わっていく公園の様子を見ることが出来る場所です。